



地域研究コンソーシアム 2007 年次集会・公開シンポジウム

地域分析と技術移転の接点

「はまる」「みる」「うごかす」視点と地域理解

学際的研究分野である地域研究は、ある特定地域の社会・文化・歴史・環境の固有性の理解をめざす方向と、開発援助や技術移転などを通して研究対象となる「地域」の積極的改良を是とする方向とを、ともに含む幅広い研究分野である。

本シンポジウムでは、研究者と対象地域とのかかわり方を「はまる」「みる」「うごかす」と三つにわけ提示する。その上で、大学における教育および技術移転などの実践活動という枠組みのなかで、地域研究者が共有可能な知の構築のあり方を討議する。

報告

「はまる」立場から： 岸上伸啓氏

(国立民族学博物館教授・文化人類学)

「みる」立場から： 猪口孝氏

(中央大学教授、アジア・ロメーター主宰・政治学)

「うごかす」立場から： 今村文彦氏

(東北大学教授・津波工学)

コメント

黒崎卓氏 (一橋大学教授、開発経済学)

勝間靖氏 (早稲田大学准教授、

平和と人間の安全保障・国際人権論)

日時：2007年11月10日(土) 15:00～17:30

会場：東北大学片平さくらホール2階会議室(参加自由・入場無料)

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1(片平キャンパス)

* 本シンポジウムに先立ち、同会場で13時からコンソーシアム「活動報告」を行います

主催：地域研究コンソーシアム <http://www.jcas.jp/index.html>

共催：東北大学東北アジア研究センター・京都大学地域研究統合情報センター

連絡先 高倉浩樹 022-795-6009 E-mail: hrk@mail.tains.tohoku.ac.jp

連携シンポジウム(日本学術会議・地域研究学会連絡協議会との共催)

日時：2007年11月11日(日) 10:00～16:00(予定) 会場：東北大学片平さくらホール

動き出したグローバル COE プログラム：地域研究の展開と研究教育体制の課題